

Retek® Data Warehouse Web 2.3.1



リリースノート



企業本部

Retek Inc.
Retek on the Mall
950 Nicollet Mall
Minneapolis, MN 55403
888.61.RETEK (toll free US)
+1 612 587 5000

本マニュアルで説明されるソフトウェアは、ライセンス契約のもとに提供され、その契約条件に従う場合にのみ使用できます。

欧州本部

Retek
110 Wigmore Street
London
W1U 3RW
United Kingdom

本マニュアルの情報は予告なく変更されることがあります。

Retek は内容の保全を図るため、製品資料を読み取り専用フォーマットで提供します。Retek カスタマサポートは、Retek の許可なく変更された資料についてはサポート致しかねます。

電話番号 (代表)
+44 (0)20 7563 4600

セールス窓口
+44 (0)20 7563 46 46
Fax: +44 (0)20 7563 46 10

Retek[®] Data Warehouse[™] は、Retek Inc. の商標です。

Retek、および Retek のロゴは、Retek Inc. の登録商標です。

この情報は未公開であり、機密保持契約、企業秘密、およびその他の法律によって保護されています。出版に際しては、次の事項に準拠するものとします。

©2002 Retek Inc. All rights reserved.

Retek 日本オフィス

〒107-0061
東京都港区
北青山 3-6-7
青山パラシオタワー 11F
+81 (0)3 5778-7620
Fax: +81 (0)3 5778-7640

本マニュアルで言及されている他の製品名はすべて、各社の商標または登録商標であり、それに準じた取り扱いをする必要があります。

米国にて印刷。

カスタマサポート

カスタマサポート時間帯:

カスタマサポートは、電子メール、電話、Web アクセスによって 365 日、週 7 日間 (24 時間) ご利用いただけます。

選択したサポートオプション (スタンダード、プラス、プレミアム) によっては、特定のサービスの提供回数が制限される場合があります。重大度 1 の (深刻な) 問題の処理は、週 7 日間 (24 時間) ベースで行われ、問題が解決されるまで、アクティブメンテナンス中のすべてのクライアントは継続的に監視されます。

お問い合わせ方法 連絡先

インターネット (ROCS)	www.retek.com/support Retek 社のお客様向け Web サイトです。問題に関する最新の情報を参照することができます。
電子メール	support@retек.com
電話	米国およびカナダ: 1-800-61-RETEK (1-800-617-3835) その他の地域: +1 612-587-5800 EMEA: 011 44 1223 703 444 アジア太平洋: 61 425 792 927
メール	Retek カスタマサポート Retek on the Mall 950 Nicollet Mall Minneapolis, MN 55403

カスタマサポートにご連絡いただく前に、下記の内容をご確認ください。

- 製品のバージョンおよびプログラム/モジュールの名前
- 具体的、技術的な症状 (業務に与える影響を含む)
- 問題の詳細な再現手順
- 正確なエラーメッセージ
- 問題の操作を確認できるスクリーンショット (手順ごと)

目次

第 1 章 序文	1
概要	1
システム要件	2
サポートされている言語	2
第 2 章 既知の問題と欠点	3
階層に適用されたカスタムフィルタ	3
レポートのエクスポート - Microsoft Word、Excel	3
MicroStrategy Desktop 固有のフォルダ	3
Netscape レポートメニュー	3
ドリルメニュー	3
新規レポートのグラフタイプおよびグラフスタイル	4
レポート、テンプレート、フィルタの編集	4
MicroStrategy Intelligence Server の接続	4
第 3 章 現在開発中の機能	5
レポート機能の強化	5
ユーザおよびグループの RDW Web 設定	5
レポートのスケジュール	5

第 1 章 序文

概要

RDW Web は、Retek Data Warehouse (RDW) のレポート分析エンジンにアクセスできる直観的なインターフェイスを備えており、使いやすい柔軟なアプリケーションになっています。RDW が提供する柔軟でスケーラブルな基盤の上で、小売業者は複数の小売チャンネルを通して顧客ロイヤリティおよび商品性能を高めながら、主要なトランザクションレベル情報を格納および分析し、非常に有益な意思決定の大半を行うことができます。RDW Web リリース 2.3.1 の中心となる機能は、MicroStrategy 7 プラットフォームで動作するように設計されています。今後のリリースでは、新たな機能が追加される予定です。

本リリースにおける主要機能には、以下のものがあります。

- レポートの実行
- 名前やメトリックのキーワードによるレポートの検索
- グリッドモードまたはグラフモードでのレポートデータの表示
- レポート SQL の表示
- レポート実行履歴の表示
- レポートの保存
- MS Word、MS Excel、HTML、または書式なしテキスト形式でのレポートデータのエクスポート
- プロンプト機能 (新機能/改良された機能)
- レポートデータのドリル
- レポートのリフレッシュと再プロンプト
- グリッド結果の並べ替えとピボット
- フィルタ詳細とレポート合計の表示/非表示
- グラフタイプの変更
- レポートグループの作成と編集
- レポートグループの実行 (ログイン時または適宜)
- MS Word、MS Excel、または HTML 形式でのレポートグループのエクスポート
- 印刷レポートへの "最終更新" 日の表示
- 設計モードまたはウィザードモードにおけるレポートの作成および編集
- レポートの作成時および編集時のオブジェクトの検索
- 新規および編集済みレポート、テンプレート、フィルタの保存

RDW Web 2.3.1 の新機能には、以下のものがあります。

- フランス語のサポート

システム要件

RDW Web 2.3.1 を動作させるには、MicroStrategy 7.1.6 が必要です。システム要件の詳細については、『RDW Web 2.3.1 インストールガイド』を参照してください。

サポートされている言語

RDW Web 2.3.1 では、以下の言語が完全にサポートされています。

- 英語
- フランス語

今後の RDW Web 2.3.x のリリースでは、日本語およびスペイン語をサポートします。

第 2 章 既知の問題と欠点

階層に適用されたカスタムフィルタ

ユーザは、Retek Data Warehouse 内のフィルタを含む階層を移動することができます。MicroStrategy API では、階層内に含まれるカスタムフィルタが正常に動作しないことがあります。この機能は、MicroStrategy の問題が解決され次第、強化される予定です。

レポートのエクспорт - Microsoft Word、Excel

- Service Release 1 未適用の Microsoft Office 2000 にレポートをエクспортすると、エラーメッセージが表示されることがあります。SR-1 を適用すると、この問題は解決されます。
- グラフレポートにおいて、Microsoft Excel 97 への適切なエクспортが行われません。これは Microsoft Excel 97 の機能上の問題であり、Microsoft Excel 2000 SR-1 では発生しません。

MicroStrategy Desktop 固有のフォルダ

RDW Web では、"マイレポート" フォルダや "\パブリックオブジェクト\レポート" フォルダなどの MicroStrategy Desktop 固有のフォルダが使用されます。これらのフォルダを削除すると、RDW Web は正常に動作しません。これは設計上の問題です。

Netscape レポートメニュー

ドリル可能なレポートを開くと、RDW Web レポートメニューにレポートのドリルチェックボックスが表示されます (Netscape 4.x のレポートメニューからアクセス可能)。このシナリオでは、すべてのレポートメニューがアクセス可能で、動作に問題はありませんが、一部のテキストがチェックボックスによって隠れてしまいます。これは、Netscape 4.x ブラウザの機能上の問題です。

ドリルメニュー

レポートのドリルメニューでは、"他の方向" に対応する階層名が誤って表示される場合があります (たとえば、「商品」の代わりに「商品 2」が表示される)。この問題は、メニューのテキストにのみ影響し、アトリビュートの選択やドリル要求の実行には差し障りありません。この機能は、MicroStrategy の問題が解決され次第、強化される予定です。

新規レポートのグラフタイプおよびグラフスタイル

RDW Web を介して新規レポートの作成または既存のレポートの編集を行う場合、レポートに対して既定のグラフタイプおよびグラフスタイルを指定できます。ユーザが指定するグラフタイプおよびグラフスタイルは、RDW Web を介して実行した場合はレポートに適用されますが、MicroStrategy Desktop を介して実行した場合は適用されません。これは、MicroStrategy API の問題です。この機能は、MicroStrategy の問題が解決され次第、強化される予定です。

レポート、テンプレート、フィルタの編集

ユーザが RDW Web でレポート、テンプレート、およびフィルタオブジェクトを変更した場合、オブジェクトに対する変更を確認するには、いったん RDW Web からログアウトしてアプリケーションに戻らなければならない場合があります。これは、MicroStrategy API の機能上の問題です。

MicroStrategy Intelligence Server の接続

RDW Web の旧リリースでは、MicroStrategy Web Administration で生成されたファイルを利用して、接続する MicroStrategy Intelligence Server を識別していました。MicroStrategy Web 7.1.6 では、このファイルを格納する方法が変更されています。この変更に対応し、RDW Web 2.3.1 では独自にコピーしたファイルを使用して、接続する MicroStrategy Intelligence Server を識別します。つまり、接続する MicroStrategy Intelligence Server を決定するときに、MicroStrategy Web で作成されたファイルだけに依存することはなくなりました。

RDW Web にログインする前に、『RDW Web 2.3.1 インストールガイド』の第3章の説明に従って、このファイルを適切に設定してください。

第 3 章 現在開発中の機能

RDW Web 用に現在開発中の機能には、以下のものがあります。

レポート機能の強化

- オブジェクトプロンプトの検索
- 名前を付けてテンプレートを保存/名前を付けてフィルタを保存
- ページごとのレポートの実行と表示
- メトリックのドリル
- レポート結果の E-Mail 送信
- ドキュメントの実行
- テンプレートおよびフィルタの削除

ユーザおよびグループの RDW Web 設定

管理者は、現在の RDW Web プロジェクトレベルの設定を特定のユーザやグループに割り当てることができます。

レポートのスケジュール

ユーザは、時間ベースまたはイベントベースのスケジュールに沿って、レポートを実行することができます。